エコニュースさって

第 3 号
平成 17 年 6 月 17 日
幸手市民環境会議
（幸手市環境保全課内）
TEL48-0331

（市民環境会議各グループの活動から）

ホウネンエビ見つけた！

６月４日行幸小学校前の水田でホウネンエビの観察を行いました。

透明感のある体の先端に両側にちょっと離れて黒い目。Ｖ型のしっぽはそこだけ鮮やかな朱色。ペットボトルの入れ物に入れて見ると逆さまになって泳いでいる（背泳か～）。足が腹のところに、わやわや動いています。なかなか愛着のある姿です。体長は 20㎜ ほどで、透明感のため、水田の水に目を凝らして探さなくてはなかなか見つかりません。これまで長い間、観察を続けておられる、石井先生（さかえ小）の指導のおかげで、これがホウネンエビだと教わりましたが、知らなかったら見つけられないでしょう。

めだかと違って、ホウネンエビは卵の時は、砂漠でも耐えられる生命力があり、水が無くなっても、じっと土の中で水を待っていて、暖かくなったら、孵化するのだそうです。

騎西町では同じ時期にやはり田んぼに現れるカブトエビが多数見つかって話題になっているようです。今年は豊作なのでしょうか。　(久保田)

ホウネンエビ：甲殻綱無甲目ホウネンエビ科。体長 20mm の細長い円筒形で甲を持たず 11 対の足がある。初夏の頃、水温の高い水田などに出現する。「大発生すると豊年になる。」という言い伝えがある。背中を下にして足のすばやい動きで巧みに遊泳する。普通は無色半透明であるが緑色を帯びることがある。（久保田）
―小学館・万有百科大事典より―

ホウネンエビやメダカ、蛍などの生物が棲みやすい環境が戻ってきているのでしょうか。あなたの近くでも、見つけてみましょう。　（生態系グループ）

教えてください。あなたの環境情報
（TEL48-0331・FAX48-2226）

(撮影　久保田)

（もっと知りたい人に）
ホウネンエビの生態を動画で見られます。
http://f-page.hp.infoseek.co.jp/hou01/movie.html
1998 年頃には、次の場所で観察されました。（幸手市史）
北二丁目、三丁目、上宇和田、神明内、東一丁目、三丁目、栄（第２保育園付近）、下川崎（長倉小）、高須賀、中（幸手小）、平須賀二丁目、緑台、惣新田（吉田小）

市民環境会議は、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を折り込むために作業してきました。そして今、環境ナビグループ、環境マップグループ、生態系グループ、グリーンコンシューマーグループが活動に取り組んでいます。誰でも参加できます。

問合せは、幸手市民環境会議（４８－０３３１）まで。

第２５回江戸川クリーン大作戦

平成１７年5月２９日（日）江戸川クリーン大作戦が開催されました。このイベントはごみゼロの日（5月３０日）の至近の日曜日に毎年開催されており、東京都・千葉県・埼玉県・茨城県に渡り、江戸川沿いの２区１１市町でいっせいに実施され、九郎右ェ門集会所前には、子供さんを含めた５７８人もの方が参加されました。

今回は、天候にも恵まれ、ひばりをはじめとする野鳥のさえずりを耳にしながら、参加者の皆さんは、新緑の土手のごみを一生懸命拾い、心地よい汗をかいていました。

他の市区町内を流れる江戸川の河川敷には、公園が整備されているため、普段から人の出入りが多く、ごみも多いのですが、幸手市内の江戸川は、普段一般の方が立入ることが無いため、ごみが比較的少ないのが実態ですが、それでも当日は参加した皆様のおかげによりまして、空き缶等の燃えないごみが９４０kg、紙くずなどの燃やせるごみが５０kgも集められました。

参加者の皆さんがお帰りになった後の、まさに「ごみゼロ」となった堤防は、すっかり初夏の風の似合う、さわやかな光景になっていました。　(尾崎)

ご協力ありがとうございました。（参加団体）

東武団地自治会・ボーイスカウト幸手団・幸手市連合婦人会・明るい社会作りの会・橘あけぼの会・幸手市公民館クラブ連絡協議会・（社）幸手青年会議所・幸手青年会議所ＯＢ会・幸手ライオンズクラブ・幸手中央ロータリークラブ・幸手消防団第５分団 OB 会・社会福祉法人　平野の里あやめ寮・権現堂川地域環境保全協議会・中島用悪水路土地改良区・槙野地地区・花島地区・中島地区・三田地区・西関宿地区・ガールスカウト７６団・他一般のみなさん

愛知万博にこんなものあり！

愛知万博に万年時計がよみがえる。（エコライフ考）

６月 10 日は＜時の記念日＞です。

「万年時計」を再現しようと、関連分野の技術者 200 人が集まって、やっと、なんとか万博に間に合わせてそうです。中でも、この時計を動かす強力なゼンマイは技術的な難関だったようです。和時計は当初外国製のものを模倣していたが、しだいに江戸時代の時刻制度にあうように改良されました。

田中久重(1799-1881)
通称、儀右衛門。幼い頃から、からくり人形に興じ、＜からくり儀右衛門＞の異名で知られる。1851 年に京都で万年時計を制作した。1875 年には銀座８丁目に通信機工場を設立し、これが東京芝浦電気の礎となった。

江戸時代はサマータイムをやっていた！

時計が普及していない江戸の庶民にとっては、明け六つ（日の出の 30 分前）から暮れ六つ（日の入りの 30 分後）までが昼間です。今で言えば、それぞれが午前 6 時と午後 6 時なので、同じ＜1 時間＞といっても昼と夜では、違うし、夏と冬でも違っていました。それが生活の基盤でした。江戸時代は「サマータイム」が当たり前だったのです。　(本田)

高須賀池公園に行ってみました、外来種ブラバスは？

（広報さって５月号に関連記事があります。）

「**アサザ**」は、水面に楕円形の葉を浮かべ始めていて、ほっとしました。大きな群が三つ、四つ、あとは小振りで、まだちょっと寂しいけど黄色の可愛い花もちらほらと咲き始めています。（東側）その上をコシアキトンボ（体全体黒いが腰の当たりが白い）が楽しそうに飛び回っていました。岸辺の草むらでは、色鮮やかなキアゲハ（雄）に出会いました。大きな羽根を広げ、夕陽を浴びて、ゆったりと休んでいました。

４月に出会った釣り人たちは、「今年はヘラブナがいない。」と嘆くことしきり。池の水かさが減っていた工事の間に、業者が魚をごっそり取っていったとか、魚が返ってくるのには、ちょっと時間がかかりそうです。今日も釣り人が数人、ブラックバスを釣っていました。（幸手市史によると）1998 年の調査でもブルーギルとオオクチバスの生息が確認されています。＊ブラックバスはオオクチバス、コクチバスの総称です。

昼間は、子どもたちの遊べる遊具がある広場には、幼児を連れたお母さんたちの姿が見えました。「環境学習ゾーン」には、今は何もありませんが、早く子どもたちと楽しく学習活動ができるようにしたいですね。（本田）

外来生物法：６月１日施行。オオクチバスについては「拡散防止とともに生息数の減少」を進めることが決められました。既設の釣り場についても、審査が行われます。
また、釣った本人に限り、同じ水域であれば、キャッチ＆リリースが認められています。（新潟県では、５年前からキャッチ＆リリースも禁止しています。）
内水面漁業組合では、もしブラックバスを釣り上げたら、監視員に引き取ってもらうか、近くの漁協に届けるか、**調理して食べてください**、と呼びかけています。

『もったいないばあさん』活躍してます

「環境」を考えるキーワード

ノーベル賞を受けたケニアの環境活動家、ワンガリ・マータイさんが２月下旬に来日した時に奥田会長との話のなかで、「日本へ来て『**もったいない**』という言葉を知りました。すばらしい言葉ですね。」と言ったのがきっかけになって、今や、環境問題を考えるキーワードとして見直されています。

同じノーベル賞受賞者の田中耕一さんは、試料の調合を間違えた時、『もったいない』と捨てずに実験したので、大発見ができたと言っています。

ソニー創業者の盛田さんは 30 年以上も前の石油危機直後に米国で講演し「日本に古くからある『もったいない』の精神を尊重し、限りある天然資源を大切に活用しよう」と訴えました。その時も、英語に訳さず、『モッタイナイ』と言ったそうです。実は英語には、「ありがたい」という感謝の気持ちを併せ持った、ぴったり対応する単語がないのです。

同じ頃、絵本で「もったいないおばけ」というのがあったそうですが、今また「もったいないばあさん」という絵本（講談社、1500 円）が売れていて、幼児教育に使われ始めています。とかく利便性に囚われて面倒がったり、格好良さばかりを気にしていたりしてはいませんか。あなたも明日のエコライフを『もったいない』をキーワードにして、考えてみましょう。(本田)

こんな活動しています・その３

ことしも、ケナフの種をまきました

―権現堂川小学校/権現堂地区環境保全協議会―

ケナフは紙の原料になります。木材に代わる紙原料として利用されるようになれば、森林の保全に役立ち、地球温暖化に寄与することが期待されます。

権現堂川小学校では、毎年校庭でケナフを栽培しています。
6 月 13 日(月)に権現堂環境保全協議会の皆さんに手伝っていただいて、上竹会長から「地球温暖化」のお話を聞いた後、校庭の 2 箇所の花壇に、4 年生のみんな（21 人）でケナフの種まきをしました。今年で、8 年目になります。ケナフは育つのが早いのがひとつの特徴です。観察していけば、みるみる背が伸びて、すぐに、みんなより高くなることでしょう。　秋には、収穫をして、今年もケナフの紙透きをします。会員の農家の方々は自分の畑でもケナフを栽培して、生徒たちを応援しています。
　幸手市内のほかの学校でも、「環境教育」の一環として、取り上げてみませんか。(本田)

6 月～8 月の行事・活動

市民生活課　℡44-0257

クリーン作戦
7 月 3 日（日）8 時－10 時
集合場所：権現堂調整池管理所

7 月 10 日（日）8 時－９時 30 分
集合場所：大島新田調整池ｻｯｶｰｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ

幸手権現堂桜堤保存会

5 月 28 日（土）～7 月 3 日（日）
あじさい祭り
場所：権現堂堤
65 種･約 5,500 株の紫陽花が咲きそろい、皆さんのご来場を待っています。

幸手自然愛護会（自然観察クラブ改め）
7 月 2 日（土）　８時－12 時
子供たちと共に自然とふれあうつどい
見て･食べて･考えて見よう
場所　北公民館
内容　キューピー（株）工場見学ほか
小学生の多数の参加を待っています。
定員　50 名（先着順）
参加費：２００円

7 月 5 日（火）8 時 30 分から
フジバカマお守り隊
権現堂堤の自生地の権現堂堤の自生地の除草
＊問合せ　横田さん　℡43-1373

幸手地産地消研究会　（会員約 40 名）
6 月 26 日（日）９時 30 分ー午後２時
ゆうあい農産物直売所　開設１周年
特別企画：新鮮野菜販売とﾌﾘｰﾏｰｹｯﾄ同時開催
***じゃがいも･まんじゅうの試食会*（先着 300 名）**
場所：ＪＡ本店倉庫前･幸手郵便局東隣
会員を募集しています
＊問合せ　増田さん　℡42-3813
　　新井さん　℡42-4010

花いっぱい咲かせ隊　（会員約 30 名）
7 月 16 日（土）　毎月第３土曜日
花壇の整備
場所：駅入り口（御成街道交差点）、市役所モニュメント、幸橋など５カ所
＊問合せ　折原さん　℡42-1459

権現堂地区環境保全協議会
6 月：会員研修会
彩の国資源循環工場（寄居町）の見学
＊問合せ　上竹さん　℡42-3423

県環境科学国際センター
（騎西町上種足　℡0480-73-8363　）
6 月 30 日（木）　13:30～15:30
地球温暖化と埼玉県の取り組み
参加費：無料
定員　100 名